

宮本 増憲 議員



一括質問方式

①平成30年7月豪雨災害の
復旧状況

②令和2年度予算編成

③定年制

④定期船青島

⑤長浜水族館建設

⑥藤樹教育

⑦児童生徒のスマホ使用

⑧長浜なぎさの湯

令和2年度予算編成について

問

令和2年度予算編成について
は、いかに二宮カラーを出しながら復旧・復興を進めていくことができるかが肝になると思う。市税も減収となるのではないかと考えられる中、どのような予算編成を考えているのか。

るのか。

答 当初予算の編成に当たっては、引き続き豪雨災害からの復旧・復興と災害に強い安全・安心なまちづくりの実現に向け、復興計画に基づく施策や防災、減災事業などに重点を置くとともに、5つの公約の実現に向けて認定こども園施設整備や放課後児童健全育成事業などの子育て支援施策や、観光振興による交流人口の拡大などの産業振興施策のほか、教育環境の整備として小・中学校の施設改修事業などを、また健康づくりの施策では健康寿命延伸事業などを進めていきたいと考えています。

なお、財源の確保が厳しい状況にありますので、健全な財政運営を念頭に予算を編成しなければならぬと考えているところです。

定期船青島について

問

定期船青島の航路は、離島航路に対する補助金や運賃等により運行されている。離島航路の補助金等が減額または廃止と言われているが、これが事実であれば今後定期船青島を運行できるのか。今後の青島、また定期船青島についてどのように考えているのか。

答

離島振興対象実施地域の指定要件は、直近の国勢調査の人口が

50人以上であることと、離島活性化の取り組み状況により判断するとされており、青島は前回の平成25年に続き見直しの対象となったもので、国は令和2年6月ごろに結論を出すと考えています。

今後も島民の皆様の生活の維持を基本とし、青島の活性化につながる交流人口を増やす取り組みなど、島民の皆様と話し合いながら実施可能な振興策を進め、国、県をはじめ関係機関の協力をいただきながら指定解除とならないよう取り組んでいきたいと考えています。

万一補助金が交付されなくなった場合でも、指定航路は島民の皆様の生活に欠かせないものですので、運航方法の見直しを検討するなど、引き続き航路の確保に努めていきたいと考えています。

長浜水族館建設について

問

私が議長だった当時、故清水市長とともに水族館建設に関する要望書を受け取ったが、清水市長は早世された。

二宮市長におかれては長浜高校水族館部の皆さんの思いや署名した方々の思いを無にしないでいただきたいと思うが、どのように考えているのか。

答

長浜地域での機運の高まりは十分に理解していますが、大規模な設備を有し運営される水族館において、より質の高いサービスを安定的に継続して提供するためには、施設整備費や運営費等を考えると本市のみでの取り組みは大変難しく、民設民営もしくは民間活力を導入することが基本となると考えています。

今後は既存の町並み水族館や長浜高校水族館の活性化を図りながら、長浜町第3次開発基本計画の見直しの中で、長浜町内の点と点を線で結び、商店街や長浜大橋などを回遊しながら長浜の風光明媚な自然と水産業を組み合わせた人と魚が触れ合える新しい形の水族館構想について検討したいと考えています。

まち全体が水族館

長浜まちなみ水族館2019

釣りぼりのドキドキは、人生のときめきに似ている。

かつての町に水族館があり、近くには釣りぼりがあった。

令和元年 9月・10月・11月(第3土曜日)

釣りぼり&スタンプラリー開催

第3土曜日 11時～16時まで(当日限り)

昨年実施した長浜まちなみ水族館